

[006] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10262>

出版情報：語文研究. 6/7, 1957-12-30. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



学会彙報

講義題目

昭和31年度

第二学期(自昭和31年10月
至昭和32年3月)

- (大学院) 国語学演習(国語史の諸問題) 福田教授
- () 国語学特研 福田教授
- (大学院) 国語学演習(万葉集) 福田教授
- () 国語学概論 福田教授
- (学部) 国語学演習(三宝絵中巻) 春日(和)助教授
- () 国語学(日本文法) 春日(和)助教授
- (大学院) 国文学(日本文学史の方法) 杉浦教授

- (大学院) 国文学演習(近松) 杉浦教授
- () 国文学演習(芭蕉の連句) 杉浦教授
- () 国文学(日本近世文学史) 杉浦教授
- (学部) 国文学講読(土佐日記) 杉浦教授
- () 国文学演習(古今集) 春日(和)助教授
- () 国文学講読(源氏物語) 今井助教授
- () 国文学演習(枕草子) 今井助教授
- () 国文学演習(分枝)穴山助教授
- 昭和32年度(自昭和32年4月
至昭和32年10月)
- (大学院) 国語学演習(古代日本語の音韻) 福田教授
- () 国語学特研 福田教授
- (大学院) 国語学演習(万葉集) 福田教授
- () 国語学特講 福田教授

- (学部) 国語学演習(日本靈異記上) 春日助教授
 - () 国語学(日本文法—文章論) 春日助教授
 - () 国文学講読(土佐日記) 春日助教授
 - () 国文学演習(古今集) 春日助教授
 - () 国文学講読(源氏物語) 今井助教授
 - () 国文学史 今井助教授
 - () 国文学演習(枕草子) 今井助教授
 - () 国文学演習(分枝)穴山助教授
- 行事
- 一、九大国文学科開講三十周年記念学会(昭和31年11月18日(日)於九大法文
経第七演習室)
 - 1 研究発表者並びに発表題目
上代東国方言「チシ」の交替について
原口 裕

2 平家物語覚一本考

笠 栄治

3 萩と山吹―類歌の背景

森山 隆

4 天草本平家物語に於ける形容動詞について

麻生 朝道

5 無常観の意味

井手 恒雄

(講演) 回顧断想

九大名著教授
文学博士

春日 政治

講演終了後、国文学会長福田良輔教授の祝辞があり、引続いて杉浦教授のお話、長金子、平井、目加田諸先輩の回顧談に花が咲いた。

懇親会、学会終了後、於中島氏宅。

一、昭和31年度卒業論文発表会並びに予餞会

(昭和32年2月3日 於三畏閣)

建礼門院右京大夫集の研究

中司 浩二

西鶴本「一目玉鉾」の研究

原 武 哲

伊勢物語の語法―主として助動詞につ

いて

遠藤 康子

万葉集の民族学的研究―その信仰と生活と

大熊 猛夫

源氏物語宇治十帖について

奥 作男

古事記成立の一考察―素材としての動物植物について

植物について

城戸 得江

続日本紀の宣命仮名について(主としてその用字法)

その用字法)

熊抱 孝彦

方丈記における鴨長明について

白垣 政康

「中原中也」研究―詩の破調について

秦 英 乘

三宝絵考―和漢混淆文の一断面―

原 栄一

若き日の建部綾足

原 純子

志賀直哉研究

向江 泰

一、新人生歓迎会

昭和31年11月28日 於福岡市東中洲
日本ビール園内 進学生十一名

一、昭和32年度九大国文学会総会並びに研究発表会

(昭和32年5月26日(日)於法文経第七演習室)

研究発表者氏名並びに題目

一、板行前のおくのはそ道の反響

白石 梯三

―杉浦教授の「解釈と鑑賞」に関する贅説―

一、「鴨長明家集」考―その成立年代について

篠崎 久躬

一、中世歌論に見える言語意識の性格

佐田 智明

一、俳人野明について

大内 初夫

一、二葉亭の現実認識について

立川 昭二郎

一、万葉集用字の視覚性

瀬古 確

一、物語の語術

今井 源衛

研究発表終了後、会長福田良輔教授の挨拶があり、引続いて総会、三畏閣に於て懇親会が催された。